### 「故障かな? と思ったら(不調診断)

<租免>・使ったときに グラグラする

点検する箇所	処置のしかた
支柱と天板および、踏ざんの接合部に、ゆるみや	ある場合は、使わないで廃
ガタツキがありませんか。	棄してください。
天板のヒンジに、ゆるみや	ある場合は、使わないで廃
ガタツキがありませんか。	棄してください。

### < 現象 >・開き止め金具が確実にロックできない。 ・脚立がストーブに閉閉できない。

神五いスカースに用切っている。	
点検する箇所	処置のしかた
開き止め金具に、変形が	ある場合は、使わないで廃
ありませんか。	棄してください。
ロック部の機能がそこな	ある場合は、使わないで廃
われるような破損や変	棄してください。
形、サビ付きがありませ	
んか。	
支柱や天板のヒンジに変	ある場合は、使わないで廃
形がありませんか。	棄してください。
天板のヒンジがサビ付い	サビ付いている場合は、回
ていませんか。	転部に注油してください。
	機能がそこなわれるよう
	ないちじるしいサビ付き
	がある場合は、使わないで
	廃棄してください。

### ZTB会へ PDさおおんだんせん

< 現家 >・脚立か刀タ刀タg る。	
点検する箇所	処置のしかた
設置面は平坦ですか。	設置面は平坦に見えても、脚立がガタガタする場合があります。その場合は脚立を移動して、ガタツキを取り除いてください。 ※「設置場所について(P.3)を参照。
脚元や先端が曲がって いませんか。	曲がっている場合は、使わ ないで廃棄してください。
滑り止めキャップ(支柱 端具)が、外れたり、す り減ったりしていませ んか。	外れたり、すり減ったりし ている場合は、使わないで ください。( 弊社までご相 談ください。)

### <現象>・大きくガタガタしている。

点検する箇所	処置のしかた
全体に大きく曲がりやね	ある場合は、使わないで廃
じれがありませんか。	棄してください。
支柱や踏ざんに、曲がり	ある場合は、使わないで廃
やへこみなどの変形はあ	棄してください。
りませんか。	

### <現象>・折りたたんだとき、合わされる脚に大きな ズレがある。

点検する箇所	処置のしかた
天板のヒンジに変形があ	ある場合は、使わないで
りませんか。	廃棄してください。
天板のヒンジを止めてい	ゆるんだり外れたりし
るリベットが、ゆるんだり	ている場合は、使わない
外れたりしていませんか。	で廃棄してください。

製品に異常があった場合、自分の判断で、 手直しや補修は絶対にしないでください。 一度変形した本体や金具は、いちじるしく 強度が落ちており、手直ししても本体や金 具の破損が起こり、転倒や転落による人身 事故の原因になります。

### Pルインコ 株式会社

〒569-8510 大阪府高槻市三島江 1-1-1

お客様相談室 0120-302-669

10:00~16:00

-8-

ただし12:00~13:00 及び土・日・祝を除く

- ※この取扱説明書の無断転用を禁じます。
- ※万一乱丁、落丁がございましたら、お取り替えいたします。
- ※住宅機器事業部の製品は日本での販売を目的として開発製造販売(仕入れ品 含む)しております。他国に輸出される場合は弊社までご相談ください。

2020053-UN

# AI INCO

### 専用脚立(60型)

### 取扱説明書

このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありが とうございます。

この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事 項について記載しています。ご使用前には必ず、この取扱

説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう、

内容にしたがって正しくお使いください。また、お読みに なった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ 大切に保存してください。



- ●脚立は、正しく使われていないと転倒や転落 の危険があります。お使いになるときは、脚立 の安定した状態を確認してください。
- ●脚立は、昇降面の左右方向に転倒しやすいの で、十分注意してお使いください。
- ●この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使 用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされ ても責任を負いかねますのでご了承ください。

### 表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている ▲マーク 付きの説明は、安全上、特に重要な項目ですから、必ず お守りください。

### ⚠ 危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故 が生じる危険が極めて大きいことを示します。

### **八警告**

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が 生じる危険があることを示します。

### **/** 注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損 する恐れがあることを示します。

※破損したままで使用しますと、転倒や転落による傷害 事故の原因になります。



このマークは、禁止(してはいけないこと)を示し ます。



このマークは、強制(必ずすること)を示します。

#### <絵表示について>

警告表示の要点が一目で理解できるように、警告ラベル の中で絵表示を使用しています。

絵表示には下記の意味があります。

## 、感電注意

持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れると感電して 危険であることを示します。

### **1** 可動部や回転部で手をはさまないよう注意

脚立を開閉するときに、可動部や回転部などで手をはさ む恐れがあることを示します。

# ▼ | 天板の上で爪先立ちすること禁止

天板の上で爪先立ちすると、身体のバランスをくずして 転倒する危険があることを示します。



# \*\* 開き止め金具のロック忘れに注意

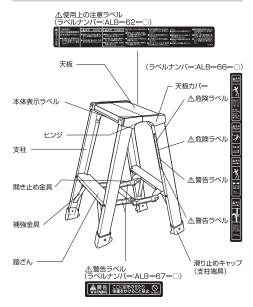
開き止め金具のロックを忘れて使うと脚が開閉し、転倒 や転落の恐れがあることを示します。



# たったった。たった。たった。

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあることを示 します。

### 各部のなまえ



※1.ラベルを取り寄せるときは、ラベルナンバーをご連絡ください。 2.ラベルナンバーは、ラベルの右下に記載されています。 3.ラベルナンバーの〇は改訂ナンバーです。

### 安全のため、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重 大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

### 1. 使用条件について

# **≜**警告

脚立としての用途以外の使いかたをしないでください。

この製品は、高い所で作業するときの足場として作られた「脚立」です。使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。

# **企警告**

この製品は、本体表示ラベルでの最大使用 質量の範囲内で使用してください。

体重と荷物の合計質量が、最大使用質量 を超えるときは、使用しないでください。ま た、荷物はバランスが保てる程度の大きさ や重さにしてください。



脚立を加工や改造しないでください。 重大な事故を起こす恐れがあります。



お子様や取扱説明書・警告ラベルの内容が 理解できない人には、使わせないでください。

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、 安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が 使うと、重大な事故につながる恐れがあります。



体調不良や安静を要するときには使用しないでください。

身体のバランスが保てず、転倒や転落の 恐れがあります。

### ⚠注意 **●**

・使用に適した服装で使ってください。

製品に引っ掛かったり、すそを踏みつける恐れのある服装で使用しないでください。



貼りつけてあるラベルが無くなったり、読めなくなった製品は使わないでください。必ず、弊社から新しいラベルを取り寄せ、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。ラベルを取り寄せるときは、ラベルのナンバー(「各部のなまえ」(1ページを参照))をご連絡ください。



この製品を人に貸すときは、取扱説明書も 共に貸し出してください。

取扱説明書には、安全に使用する上で特に 重要なことが書かれていますので、よくご 理解のうえ使うように指導してください。

### 2. ご使用になる前に



使う前には、必ず「ご使用前の点検(5ページを参照)」を行い、異常のないことを確認してください。

異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。



変形した脚立を、使わないでください。

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ 材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下します。したがって、変形した製品を修理して 使いますと、容易に折れたり曲がったりして、重大な事故の原因になります。

### 3. 運ぶときは



持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、 乱暴に扱わないでください。

乱暴に扱うと、変形やへこみ·破損の原因 になります。

### 4. 設置する場所について



設置するときや持ち運ぶときは、配電線に 注意してください。

この製品は電気を通しますので、配電線に 触れると感電し、重大な事故につながる危 険があります。



脚立が安定しない場所には、設置しないでください。

設置場所が下記の状態では、脚立が傾いて転倒や転落の恐れがあります。

- ・やわらかい地面や壁で、脚立が安定しない場所。
- ・段差があったり、凹凸があって安定しない場所
- ・脚立がガタツク場所。
- 傾斜している地面や床、屋根の上。
- ・精雪している場所。
- ・その他、安定しない場所。



脚立が滑りやすい場所には、設置しないで ください。

設置場所が下記の状態では、転倒や転落の恐れがあります。

- 滑りやすいビニール製の床・タイル・鉄板の上。
- ・濡れている場所。
- ・ 積雪や凍結している場所。
- ・砂・ごみ・ほこり・落葉などで滑りやすい場所。
- ・その他、滑りやすい場所。



人の出入口やドアの前には、設置しないでください。

出入りする人や開けたドアで、脚立が倒されて転倒や転落のおそれがあります。



雨の中や風の強い場所には、設置しないでください。

濡れた踏ざんで滑ったり、強い風を受けて 身体のバランスをくずして、転倒や転落の 恐れがあります。



足元や周囲がはっきり見えない暗がりには、設置しないでください。

足を踏み外したり、周囲の危険な物に気付かないことが原因で、転倒や転落の恐れがあります。



周囲に危険なものがある場所や、頭上に 障害物のある場所には設置しないでくだ さい。

転倒や転落の恐れがあります。



同じ場所に設置されますと、床材等の材質によっては支柱端具の接地部分に色移りする場合がありますので注意してください。

### 5. 脚立を開閉するとき



脚立を開閉するときに、可動部や回転部などで、手をはさまないように注意してください。

けがをする 恐れがあり ます。



**企警告** 

The same of the sa

脚立を完全に開き、開き止め金具を確実にロックしてください。

開き止め金具のロックが不十分で使うと脚が開閉し、転倒や転落の恐れがあります。



-2-

### 6. 設置するとき



脚立を高くするために、脚立にパイプや木 などをつないだり、台や箱の上に乗せたり しないでください。

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動して、 転倒や転落の恐れがあります。



脚立を折りたたんだまま、建物に立て掛け たり、水平にして使わないでください。

不安定な使用のため 、バランスをくずして 、転倒や転落の恐れ があります。



### 7. 昇り降りや作業するとき

天板の端に乗ったり、爪先立ちや片足で立

たないでください。 バランスをくずして、 転倒や転落の危険が あります。天板に乗 るときは、身体が天 板の中央になるよう に乗ってください。



## ⚠警告

同時に2人以上乗らないでください。 脚立が不安定になり、転倒や転落の恐れが あります。



脚立を背にして、昇り降りしないでくださ

身体が不安定になり、転倒や転落の恐れが あります。



脚立の支柱から身体を乗り出ないでくだ

身体を乗り出すとバランスをくずして、転 倒や転落の恐れがあります。



♠警告

身体の安定が得られないような荷物を持 って、昇り降りしないでください。

> バランスをくずして、転倒や転落の恐れが あります。そのような荷物があるときは、 背中に背負うなどして、両手両足が使える 状態にしてください。



開き止め金具に足を乗せたり、体重を掛け ないでください。

足が滑ったり、開 き止め金具の破 損によって、転倒 や転落の恐れが あります。





使用中、脚立の上で壁や物を無理に押した り、引いたりしないでください。

無理に押したり、引いたりすると、反動で 脚立が不安定になり、転倒や転落の恐れが あります。



天板の上で移動しないでください。

移動するとバランスをくずして、転倒や転 落の恐れがあります。



二つの脚立の間に板をかけて、足場などに 使わないでください。

踏ざんなどが破損 したり、脚立が不安 定になって転倒や 転落の恐れがあり ます。



# ⚠注意

脚立は慎重に昇り降りし、脚立の途中から 飛び降りたりしないでください。

傷害事故の恐れがあります。降りるときは、 最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてく ださい。

### ご使用前の点検

脚立をお使いになる前には、下記の点検を行い、異常の ないことを確認してください。また、異常に対して処置 のできるものは、正しい処置をした後に使用してくださ い。

### 1. 目で見て、下記の点検をしてください。

- ①天板や踏ざん等にグリース・油・泥・雪・水・ペンキなど、滑 りやすいものが付いていないか確認し、付いている場 合はきれいに拭き取ってください。(P6を参照)
- ②支柱に曲がり・ねじれ・ へこみがありません か。ある場合は、絶対 に使わないで廃棄して 曲がり ください。



③天板や踏ざん等に曲が りへこみがありません か。ある場合は、絶対に 使わないで廃棄してく ださい。



- ④各部の接合部に割れやいちじるしい腐食がありません か。また、取り付け部品の破損・脱落・変形・磨耗・いちじ るしい腐食がありませんか。ある場合は、絶対に使わ ないで廃棄してください。
- (5)リベット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ちがあり ませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してく ださい。
- (6)滑り止めキャップ(支柱端具)が外れたり、すり減っ たりしていませんか。外れたり、すり減ったりしてい る場合は、絶対に使わないでください。必ず弊社まで ご相談いただき、新しい滑り止めキャップ(支柱端具) と交換してください。

- 2. 下記の箇所を触って点検をしてください。
- ①各段の踏ざんをねじってみて、ガタツキがないか点検 してください。ガタツキがある場合は、絶対に使わな いで廃棄してください。

### 3. 支柱を開閉して、下記の点検をしてください。

 コスムーズに開閉できますか。 スムーズに開閉できないときは、 左右のヒンジ(回転金具)に泥や ヤメント・ごみの噛み込みがないか 点検し、あれば取り除いてくだ さい。



②左右のヒンジ(回転金具)のゆる みやガタツキがありませんか。ガ タツキがある場合は、ヒンジ(回 転金具)のゆるみや外れが考え られますので、絶対に使わない で廃棄してください。



③開き止め金具が、確実にロック できますか。確実にロックでき ない場合は、絶対に使わないで 廃棄してください。



-5-

### 脚立の使い方

### 1. 設置場所について

- ・平坦で安定した場所、滑りにくい場所、また脚立が埋も れない場所を選んで設置してください。
- ・雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に 設置してください。
- ・脚立の周囲に危険な物がなく、バランスの良い作業 姿勢で使える位置に設置してください。
- ・設置後は脚立にガタツキがないか確認し、ある場合は 脚立の位置を移動してガタツキなどを取り除いてくだ さい。

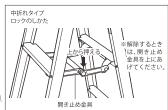
### 2. 脚立にするときとたたみかた

### <脚立にするとき>

- ①脚立の踏ざんを両手で 持ち、片方の支柱をほ ぼ垂直に立ててくださ い。
- ②もう一方の支柱を、右図 のように開いてくださ U).







④脚立を折りたたむときは、開き止め金具のロック を解除したうえで①~②の逆の手順で行ってくだ さい。



開閉は、慎重にゆっくり行って下さい。乱暴 にしますと可動部や回転部などで手をはさ んだり、変形や破損の原因になります。

### 3. 昇りかた・降りかた・作業のしかた

- 昇る前に、必ず開き止め金具が確実にロックされて いることを確認してください。
- ●運動靴など、滑りにくいはき物をはいてください。
- 身体の前面を脚立の昇降面に向け、慎重に昇り降り してください。
- ●荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手を使え るようにしてください。

- 天板に乗るときは、 身体が天板の中央に くる位置に乗ってく ださい。
- •脚立の上で作業する ときは、脚立の支柱 から身体を乗り出さ ないでください。

降りるときは、飛び



降りずに1段ずつ踏ざんに足を掛け、最下段の踏ざん

(正しい使いかた) (悪い使いかた)



まで使って慎重に降りてください。 •踏ざんに乗るときは 図のように足を掛けて

ください。 脚立を移動するときは、 脚立から地上に降りて





### 使用後のお手入れと保管のしかた

### 1. お手入れのしかた

脚立にとって泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵で す。いつもきれいにしておいてください。

### <掃除のしかた>

- ①汚れは、濡れぞうきんなどできれいに拭き取ってくだ
- ② 汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布 で拭いてください。
- (3)油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリー ナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってく ださい。

⚠ 注意 クリーナーや洗剤を付けたままにして いますと腐食の原因になります。

### 2. 保管のしかた

- ①雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場 所を選んで保管してください。雨や直射日光が当ると、 各部の腐食や劣化により、強度低下の原因になります。
- ②本製品が濡れているときは、十分に乾燥させてから 保管してください。



- ⚠ 注意 ●同じ場所に保管されますと、床材等の 材質によっては支柱端具の接地部 分に色移りする場合がありますので 注意してください。
  - 保管中は、本製品の上に物を置かない でください。変形の原因になります。
  - •農薬やセメント・石灰の近くに本製品 を置きますと、化学反応を起こして腐 食の原因になりますので、絶対に置か ないでください。

## memo

